

コンベンション KOBE



発行

(財)神戸国際交流協会 〒650 神戸市中央区港島中町6丁目9-1 (神戸国際会議場内) ☎(078)302-5200 FAX.(078)302-6485



磯村英一氏



イーデス・ハンソンさん

一九九〇年は国連による国際年の一つ、国際識字年であり、十二月四日からは人権週間も始まるが、この時期に合わせて、神戸市では「一九九〇年 神戸人権問題国際シンポジウム」を神戸国際会議場で開催する。

神戸市では、市民の人権が完全に保障される「福祉都市」の実現に向けて、各種施策を積極的に推進してきた。なかでも市民啓発事業は、同和問題を中心として、障害者、高齢者、在日外国人、女性の問題や「いじめ」の問題等、身近な人権問題を市民が自らの問題として考える機会を提供するなど、広く市民の人権意識の向上を目指すことを基本に事業を展開している。

一方、経済や社会の情報化、ボランティア化が進む中で、人権問題も国際化の速度を早めており、国際的な視点を取り入れた問題解決の方策が求められるようになってきた。

90年 神戸人権問題国際シンポジウム

12月4・5日

今回のシンポジウムでは、広く国内外から学識経験者などを招き、「人権は国境を越えて」のテーマのもと、基調講演、記念講演、パネルディスカッション、二分科会などの構成により、人権問題に関する多彩な議論が予定されている。

このうち、初日の十二月四日には、元国連大学副学長で明治学院大学教授の武者小路公秀氏が、「人権は国境を越えて」と題して、欧米を中心とする世界の人権保障の到達点とわが国の現状を紹介し、世界の中の日本の位置づけを明らかにする。

二日目は、二つの分科会に分かれ、このうち第一分科会では、「人権保障のための国際協調」と題して、欧米を中心とする世界の人権保障の到達点とわが国の現状を紹介し、世界の中の日本の位置づけを明らかにする。

日本支部長のイーデス・ハンソンさんや、在日韓国人で民族差別問題に取り組んでいる金東勲・龍谷大学法医学部長らが、「国際交流と人権」と題して、国境を超えた人の移動に伴う人権問題について議論する。また、第二分科会では、

基調講演、人権問題に詳しいнейザン・グレーザー米国ハーバード大学教授が「超大国と人権の擁護」のテーマで記念講演をするほか、

パネルディスカッションでは、本シンポジウムの座長で、国の大改善対策協議会会長を長らく務めた磯村英一東京都立大学名誉

教授が「超大国と人権の擁護」のテーマで記念講演をするほか、

大改善対策協議会会長を長らく務めた磯村英一東京都立大学名誉

教授が「超大国と人権の擁護」のテーマで記念講演をするほか、

パネルディスカッションでは、本

シンポジウムの座長で、国の大改

善対策協議会会長を長らく務めた磯村英一東京都立大学名誉

教授が「超大国と人権の擁護」のテーマで記念講演をするほか、

パネルディスカッションでは、本

シンポジウムの座長で、国の大改

善対策協議会会長

